

当社『遠場監督』が掲載されました

▼ 2020/11/26 北海道建設新聞 3面

離れても 現場把握

ヘルメットに小型カメラ、作業者の視線で



ヘルメットにカメラを取り付けて作業者の視線の映像を伝送できる

従来製品とは異なり揺れ補正のためのシンバル機構など大きな駆動装置

をいなくしたことで、カメラ本体の小型・軽量化につなげた。IP65の防じん防水性能を有し、マイナス5度から50度の環境下に対応。屋外での使用に適している。

PRしている。

これまで清水建設の現場などで採用実績がある。日本アジアグループコーポレート・コミュニケーション部の成広徳子部長は「一元がぐらつく場所でもくっきりとした映像を映し出し、リアルタイムで本社の人々が正確な作業指示を出せる」とPRしている。

人手不足や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、遠隔作業支援ソリューションが注目されている。

遠隔監督は、同社が5月に提供を開始した。ザクティ(本社・大阪)が開発した業務用小型ウェアラブルカメラ「CX-WE100」をヘルメットに装着。作業者の視線の映

像を遠隔地のパソコンなどから見られ、現場の状況把握や指示ができる。カメラに、激しく複雑に揺れる映像を補正できる機能「エクスタビライザ」を搭載しているため、驚くほどぶれないという。このため、映像酔いを防げる。4K相当の高画質映像で、分析計の数値といった細かい文字まで見やすい。

「CX-WE300」を発売予定。作業用途やネットワーク環境に合わせた最適なパッケージを提案する。

ザクティエンジニアリングサービス

日本アジアグループ(本社・東京)傘下のザクティエンジニアリングサービス(同・大阪)は、建設・施設維持管理現場向け遠隔支援ソリューション「遠場監督」を提供している。強力揺れ補正機能搭載の業務用小型ウェアラブルカメラ「CX-WE100」を用いて、ぶれない鮮明な映像を遠隔地とリアルタイムで共有できるのが特長。清水建設などの現場で採用されていて、今後遠隔現場を推進したい現場に向けて提案を強化する。

「CX-WE300」を発売予定。作業用途やネットワーク環境に合わせた最適なパッケージを提案する。

技術・安全面の遠隔指導や保守・点検作業のモニタリング、災害時の被災エリアの遠隔監視などに便利だ。12月には胸部に取り付け可能な「CX-WE300」を発売予定。

遠隔支援ソリューションを提供

をいなくしたことで、カメラ本体の小型・軽量化につなげた。IP65の防じん防水性能を有し、マイナス5度から50度の環境下に対応。屋外での使用に適している。

2020年
(令和2年)

11月26日
木曜日

HOKKAIDO
KENSETSU
SHIMBUN.

北海道建設新聞